



第 67 回神奈川会イベント報告 東京湾「猿島砲台跡」訪問

風が心地よく、空は青く、波は落ち着いて静かに、そんな春の日に神奈川会のイベントが行われました。京急横須賀中央駅に集合、参加された吉川理事長より特別挨拶をいただき、意気揚々と三笠棧橋まで移動、待ち合わせたガイドさん 3 人とお会いし、3 グループに分かれて行動するようになりました。



ガイドさんと仲良しになりいろいろと質問してみました、「猿島とは猿のいる島なのですか」、「猿島の名前はどのようについたのですか」等ガイドさん曰く、日蓮上人が安房国から鎌倉渡る際、嵐に遭い方角を見失ったときに一匹の白猿が島へ導き難を逃れたとされる場所で、猿島の名前の由来にもなっているとのこと、島の北端に弥生時代の遺物が見つかった洞窟がありこの洞窟は日蓮洞窟とも言われている、勿論無人島で猿が生息した形跡もないとのことでした。



11 時 30 分に船出して約 10 分、360 度海に囲まれた無人島で自然探訪に入り、いよいよガイドさん付きの散策が始まった。ここは東京湾唯一の自然島で面積は横浜スタジアムのグラウンド約 4 倍とのこと、島を南から北に向かって「要塞の切通し」を歩く、兵舎、弾薬庫、の中も見せてもらいました、漆喰の壁が白く浮かび上がるように見えて異様でした、弾薬庫では井戸のような穴から弾を上を持ち上げたそうです、この建物が造られたのは江戸幕府から新政府に移った明治初期、新政府はフランス製の大型砲を配備して本格的な要塞づくりに乗り出したのだそうです。



フランス式のレンガ造りレンガ積み技術が使われましたが、明治20年以降イギリス式のレンガ積み(レンガを長手だけの段と小口だけの段で一段おきに積む方式)が使われ今ではフランス式に造られた猿島要塞は貴重なものだそうです。切通しを抜けるとレンガ造りのトンネルが現れ、レンガ造りのトンネルとしては日本で最も古い建造物の一つで、中には旧陸軍の司令部跡や弾薬庫が設置されていました。



現在は恋人同士が手をつないだり、薄暗い中愛をささやく“愛のトンネル”とも呼ばれ必見スポットです。



自然探訪した後に昼食を、各自それぞれの場所でおにぎり等をかぶりつく…アルコール抜きでした!!



猿島 ボードデッキで、記念写真…“ハイチーズ”

解散は三笠公園で 石川代表とイベント担当幹事 法橋さんの挨拶で締めくくりをされ、参加 21 人家路を目指して散会しました

文章 熊田 昌秀
写真 木村 一雄 富山 友次
編集 富山 友次